

公共施設の総合評価について（たたき台）

I 目的

- ・適正な公共施設マネジメントを進めるために、施設を総合的に評価できる仕組みを確立する

II 背景と課題

- ・公共施設のあり方を判断する評価項目や評価が見える化できていない

III 対応（案）

- ・総合的に評価できる仕組みを構築し情報を「見える化」する。
- ・どのような項目と基準で評価するかを明確にする。

【定量評価】

No.	項目	内容	評価項目
1	総コスト	直近3年間の平均維持コスト（人件費、減価償却費を含む）	○
2	耐震性の有無	建物の耐震性に問題ないか	○
3	老朽化度	経過年数／耐用年数	○
4	老朽度	有形固定資産減価償却率 減価償却累計額 ／（取得金額（再調達金額） + 減価償却累計額）	
5	使用料（利用料） 収入	年間収入	
6	受益者負担比率	2. 使用料収入／1. 総コスト	
7	年間利用可能日数	施設の利用率や開館日数を考慮	
8	年間利用者数	直近3年の利用者数やその増減	
9	年間利用件数	直近3年の利用件数やその増減	○
10	稼働率 年間利用時間	年間利用時間／年間可能利用時間	○
11	稼働率 年間利用可能日数	365日－閉館日数	
12	1人あたりコスト	総コスト／年間利用者数×（13係数）	○
13	人口偏在係数	学区人口／市人口（係数）	

【定性評価】

No.	項目	内容	評価項目
14	施設類型	施設の性質による評価（次頁） 必需性×選択的×公共的×民間的	○
15	避難所指定	避難所の代替	○

2.3 施設の安全性の評価項目と基準（案）

	評価項目	評価基準	評価点
2	耐震性の有無	耐震性あり	10
		耐震性不要	4
		耐震性なし	0
3	老朽化度	50%未満	10
		50-75%未満	6
		75-100%未満	4
		100%以上	0

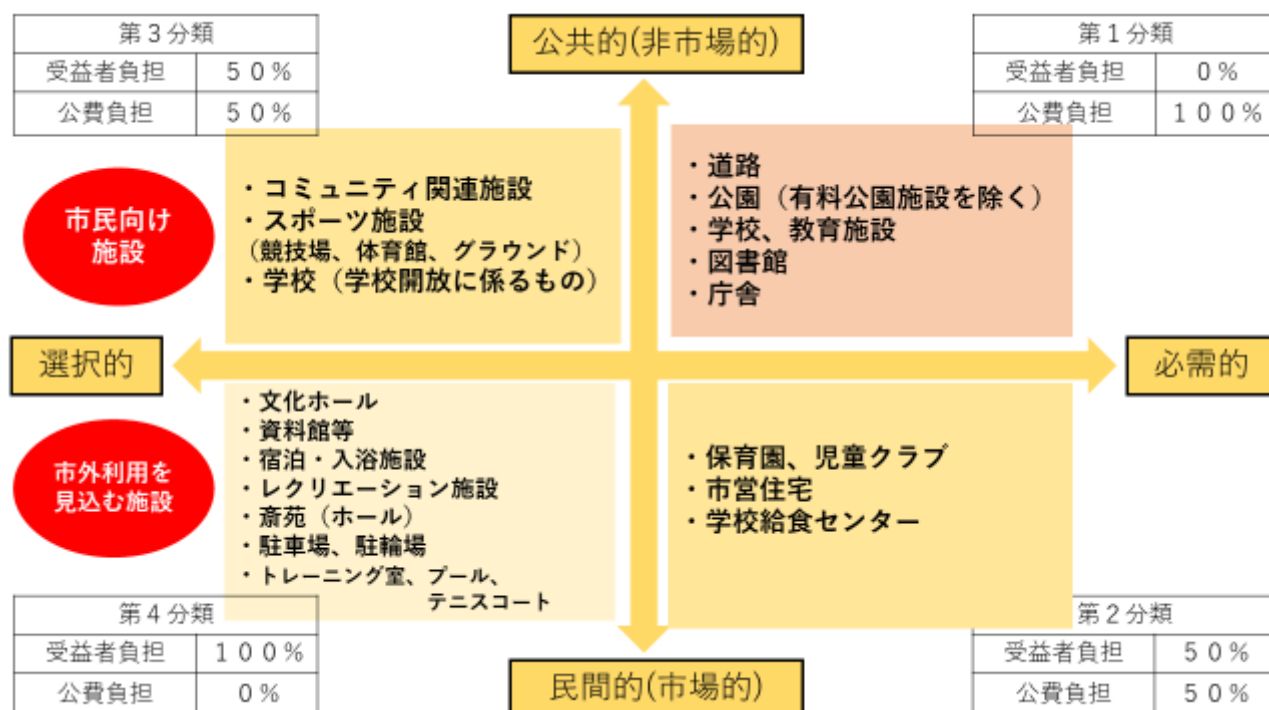
9.10 施設利用状況の評価項目と評価基準（案）

	評価項目	評価基準	評価点
9	年間利用件数増加率 (前年実績-5年前実績)／5年前実績	50%以上	10
		30-50%未満	8
		10-30%未満	5
		0-10%未満	3
		減少	0
		利用者情報なし	5
10	稼働率 年間利用時間／年間可能利用時間	75%以上	10
		50-75%以上	6
		25-50%以上	4
		25%未満	0
		利用者情報なし	5

1.12 コスト関係の評価項目と基準（案）

	評価項目	評価基準	評価点
1 12	コスト関係	下位 25%未満	10
		下位 25-50%未満	6
		下位 50-75%未満	3
		下位 75%以下	0
		データなし	5

14. 施設類型（施設の性質）による評価



性質 (点数)	民間的 (0)	選択的 (3)	公共的 (5)	必需的 (5)	過剰施設 (-5)	評価点 (合計点数)
学校・教育施設			5	5	-5	5
図書館			5	5	-5	5
庁舎			5	5		10
保育園、児童クラブ	0			5		5
市営住宅	0			5		5
学校給食センター	0			5		5
コミュニティ関連施設		3	5			8
競技場 体育館 グラウンド		3	5			8
文化ホール	0	3				3
資料館等	0	3				3
宿泊・入浴施設	0	3				3
レクリエーション	0	3				3
駐車場、駐輪場	0	3				3
トレーニング、プール、テニス	0	3				3

市民と共有するストーリー（案）

- ・公共的で必需的な施設を優先的に維持していく
- ・人口規模に対し国基準より過剰な施設は見直す
- ・選択的、民間的な施設は市場性に委ね（公民連携）サービスを向上させていく